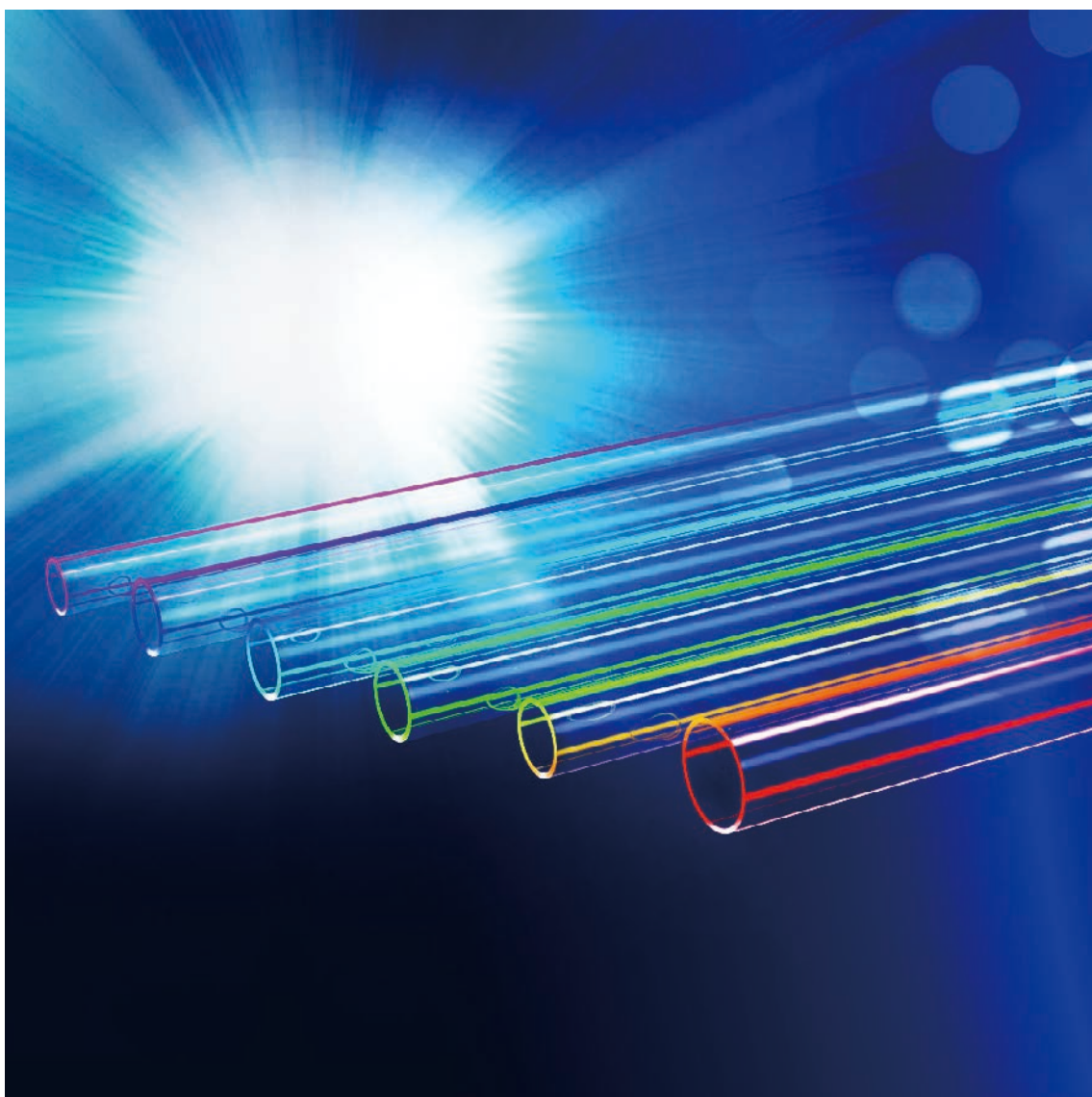


ランプ用石英ガラス

石英ガラスは、一般のガラス素材に比べ、光透過性に優れ、耐熱性が高いことから、水銀ランプやハロゲンランプ、キセノンランプなどの素材として広く使われており、光洗浄、改質、硬化や殺菌・検査用の各種光源など、さまざまな産業分野で利用されています。

信越石英では、ランプ用石英ガラス管として、天然石英ガラス、オゾンレス石英ガラスから真空紫外域での使用に適した合成石英ガラスや高純度の低アルカリ天然石英ガラスまで、幅広くラインナップしており、用途により最適な材料をお選びいただけます。



ランプ用石英ガラスの品種

石英ガラスは、その光透過性、耐熱性からランプ材としての使用に最適です。

信越石英では、ランプ用石英ガラス管として、天然石英ガラス、オゾンレス石英ガラスと、合成石英ガラスを提供しています。

いずれも独自のツールフリー法で製造し、管の内外面は平滑で欠陥がありません。

また、独自の製法により、ランプに最適なサイズ、かつ小ロットでの製造が可能です。

オゾンレス石英ガラス「M235、M215」

M235、M215は、特殊な酸化金属をドーピングし、紫外線の光透過性を制御した石英ガラスです。

M235は235nm、M215は215nmより短波長の光透過性を50%以下に制御します。

合成石英ガラス「SUPRASIL-300、310」

SUPRASIL-300、310は、天然石英ガラスよりさらに超高純度で、泡のない合成石英ガラスです。

真空紫外から赤外までの透過率特性に優れています。

SUPRASIL-300はOH基をなくした合成石英ガラス、SUPRASIL-310はOH基を約250ppm含有した合成石英ガラスです。

天然石英ガラス「HERALUX、HLQ210、HLQ270」

HERALUXは酸水素火炎溶融により製造した有水タイプの天然石英ガラス、

HLQ210、HLQ270は電気溶融により製造した無水タイプの天然石英ガラスです。

HLQ270は、特殊精製処理により金属不純物（特にアルカリ金属）を除去したランプ用の高純度天然石英ガラスです。

■ 品種表

主要製品	品種名	OH基含有量 ppm	特徴	形状
オゾンレス石英ガラス	M235、M215	約130～220	M235は235nm、M215は215nmより短波長の光透過性を50%以下に制御。	管
合成石英ガラス	SUPRASIL-300	< 1	超高純度で、泡や異物がありません。 真空紫外での透過率特性に優れています。	管
	SUPRASIL-310	約250		管、板
天然石英ガラス	HERALUX	約170	200nm以上の波長での透過率特性に優れています。	管、棒、板
	HLQ210、HLQ270	約30		

※放電ランプには、OH基を含有する石英ガラスが使用できない場合があります。

そのような用途に、OH基含有量が少ないHLQ200/235（ドイツHERAEUS社からの輸入品）も取り扱っています。

■ 紫外線の透過率

図1 SUPRASIL-300、SUPRASIL-310の紫外線透過率

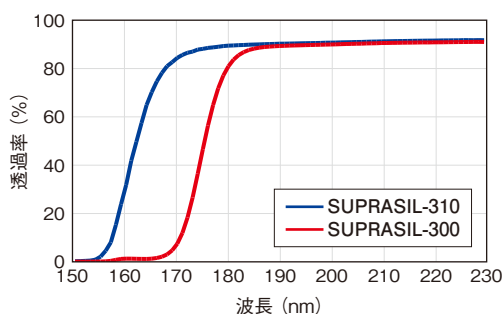
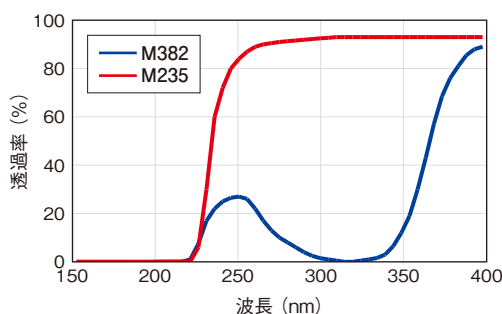


図2 M235、M382の紫外線透過率



*サンプル厚さ2mm鏡面仕上げでの透過率参考データです。

■ 製品の問い合わせ

Shin-Etsu QUARTZ
A JOINT VENTURE WITH **Heraeus**

<https://www.sqp.co.jp/>

信越石英株式会社

本社 営業部

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー9階
TEL:03-6737-0225 FAX:03-5759-6101

■ 関西営業所 〒520-0044 滋賀県大津市京町3-2-10
TEL:077-524-5009 FAX:077-523-1515